

2024年  
(令和6年)  
1月1日[月]



沖縄大学

発行

沖縄大学同窓会広報委員会

〒902-8521 沖縄県那覇市字国場555

☎・FAX 098 (832) 6560

E-mail  
dosokai@okinawa-u.ac.jp

第37号

# 同窓会報



八重山地区同窓生懇親会



4年ぶり、リアル沖大祭の実行委員のメンバー



演奏する現音OBの皆さん



躍進の水球部の皆さん



勢揃いの関東支部の皆さん

多岐にわたる分野での現役学生の活躍も、若々しく活力ある沖縄大学の底力を感じさせるものであり、同窓の誇りとなっています。希望ある若者たちの姿がある一方で、世界に目を向けると、同じ世代の若者

なっています。4月に1期生として社会に勇躍し、活躍する健康栄養学部同窓の姿は、人材輩出がその存在意義ともいえる大学の大きな希望ともなっています。

昨年5月に長引いたコロナも5類に移行し、経済活動にも光が差ししてきた感があり、不足も深刻化しています。こうした中であって、昨年

4月に1期生として社会に勇躍し、活躍する健康栄養学部同窓の姿は、人材輩出がその存在意義ともいえる大学の大きな希望ともなっています。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては辰年の晴れやかな新年をお迎えのことと思えます。

沖繩大学同窓会  
会長 棚原勝也



2024年同窓会長新年のあいさつ

昨年10月には、ハマスの武力攻撃に端を発したイスラエルによる報復攻撃は、その争いの根源となる歴史にかかわりなかつた若者や女性、子どもたちの命を奪う、非人道的な無差別殺戮と化しており、心を痛める日々が続いています。

世界情勢は決して「対岸の火事」ではなく、国内においては「台湾有事」という言葉が一人歩きし、不信と不安を煽る「声」にも注意しなければなりません。世界の平和こそ、国内の平和に繋がることを切実に感じます。

鎌倉時代の僧、日蓮は「一身の安堵（あんど）を思わば、まず四表（しひょう）の静謐（せいひつ）を祈らん者か（自らの幸せを願うのであれば、社会全体が平和であるよう願う、行動が必要だ）」と説き、また釈尊は「怨みに報いるに、怨

みで以てしたならば、ついに怨みの息（や）むことがない。怨みをすててこそ息む」とし、人類が互いの命の尊さを思うことが平和への近道であり、武力による平和などあり得ないことを伝えていきます。

後世の歴史の教科書に載るような激動の時代を生きる私たちの役割は何でしょうか。沖縄大学同窓会は、やはり有意義な人材を輩出することが、その答えだと考えます。これからも学生の背中を押す施策を積極的に展開してまいります。

同窓会では関西支部が昨年3月に発足し、新たに上田真弓副会長が誕生。評議員も議論闊達に意見を出し合い、その他各支部もコロナが明け、元気に再始動しています。この勢いのまま、今年11月、同窓会は創立60周年の節目を迎えます。同窓の皆さまにおかれては本年が、天翔ける竜の如く、飛躍の年となりますよう祈念申し上げ挨拶といたします。

同窓会では関西支部が昨年3月に発足し、新たに上田真弓副会長が誕生。評議員も議論闊達に意見を出し合い、その他各支部もコロナが明け、元気に再始動しています。この勢いのまま、今年11月、同窓会は創立60周年の節目を迎えます。同窓の皆さまにおかれては本年が、天翔ける竜の如く、飛躍の年となりますよう祈念申し上げ挨拶といたします。

同窓会では関西支部が昨年3月に発足し、新たに上田真弓副会長が誕生。評議員も議論闊達に意見を出し合い、その他各支部もコロナが明け、元気に再始動しています。この勢いのまま、今年11月、同窓会は創立60周年の節目を迎えます。同窓の皆さまにおかれては本年が、天翔ける竜の如く、飛躍の年となりますよう祈念申し上げ挨拶といたします。

同窓会では関西支部が昨年3月に発足し、新たに上田真弓副会長が誕生。評議員も議論闊達に意見を出し合い、その他各支部もコロナが明け、元気に再始動しています。この勢いのまま、今年11月、同窓会は創立60周年の節目を迎えます。同窓の皆さまにおかれては本年が、天翔ける竜の如く、飛躍の年となりますよう祈念申し上げ挨拶といたします。

同窓会では関西支部が昨年3月に発足し、新たに上田真弓副会長が誕生。評議員も議論闊達に意見を出し合い、その他各支部もコロナが明け、元気に再始動しています。この勢いのまま、今年11月、同窓会は創立60周年の節目を迎えます。同窓の皆さまにおかれては本年が、天翔ける竜の如く、飛躍の年となりますよう祈念申し上げ挨拶といたします。



関東支部長 仲宗根 政則

新年明けましておめでとうございます。昨年

の関東支部の支部行事は、コロナウィルスの5類への変更に伴い、通常の開催形式に戻しました。昨年6月の支部総会後の夕食懇親会は4年ぶりの開催で、フレンチレストランを貸し切り大いに盛り上がりました。

12月も忘年会を開催いたしました。本部のご支援もあり、若いメンバーの新規参加も徐々に増えていきます。改めて、母校での繋がりに感謝するとともに、このご縁は何物にも代えがたい財産だと感じた1年でした。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



関東支部の皆さん

関西支部長 清村 斉

新年あけましておめでとうございます。関西支部は昨年3月に発足したホヤ

ホヤの支部です。「楽しく集う」ことをモットーにし、この1年、沖縄の歌三線で心地よい時間を共に過ごし、故郷の温かさを感じながら、友情を育んでまいりました。

今年「若い同窓の受け皿になる」ことを心に留め、新たなメンバーが支部に参加しやすい環境を整えてまいります。三線の音色が私たちを繋ぎ、大学時代の思い出を語ることで絆を深め、新たな友情を築いていけることでしょうか。そして支部がますます活気づく年となるよう、同窓会本部との架け橋となるよう努めてまいります。



関西支部の皆さん

久米島支部長 宇江城 久人

新年あけましておめでとうございます。昨年

からコロナウィルスが5類に変わり沖縄の基幹産業である観光業も入域客数がコロナ前に戻りつつあり、各イベントも通常開催となりました。

今年11月に沖縄大学同窓会60周年を迎えるにあたり、久米島支部としてもこれまで以上に人と人の繋がりを強化し、他支部との交流も積極的に行って参ります。

今年も久米島支部を宜しくお願い致します。



久米島支部の皆さん

宮古支部長 下地 信広

昨年6月に宮古支部長に就任しました下地信広です。まだコロナの影響はあ

りませんが辰年の特徴である活動的で行動力のある支部活動ができればと思っています。

今年の支部活動の重点目標は同窓生のネットワークを活用し、会員の拡充に努めながら以下の事業に取り組みます。

- 1. 定期総会、親睦グラウンドゴルフ、ゴルフ大会。
- 2. 役員会(随時)。
- 3. 同窓会定期総会。
- 4. 父母会交流会。
- 5. 冠奨学金の依頼。
- 6. 推薦枠依頼。
- 7. 同窓会忘年会、新年会。
- 8. 卒業式、入学式参加。
- 9. その他、大学関連行事に関する協力など。



宮古支部の皆さん

八重山支部長 鳩間 真英

新年あけましておめでとうございます。今年

は同窓会創立60周年の節目の年。記念事業の成功のため、微力ながら協力していきたいと思

います。昨年度はコロナウィルスの影響が少々弱くなりましたので、支部活動は計画通り実施できました。

支部の課題は会員の減と、高齢化です。役員歴も長期化し、しかも繰り返しの複数回。しかし、このピンチをチャンスと捉え、知恵を絞り支え合い協力しながら活動していきたいと思



八重山支部の皆さん

女性部会長 飯田 明美

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は悲喜こもももな一年であったように感じます。スポーツ界では日本人がこれまでにない活躍と飛躍する姿に勇気をもらい歓喜に湧きました。他方で災害も多発し、戦争も続いております。心より世界平和を願ってやみません。

本年は同窓会創立60周年を迎えます。女性部会の活動として、その喜ばしい日の舞台上「かぎやでふう」を踊るための練習に重点を置きます。

会計担当の東太田和子さんは琉球舞踊の教師でもあるので心強く思います。本年も引き続きよろしくお願いたします。



女性部会の皆さん。(右が飯田部会長)

青年部会長 島袋 裕

あけましておめでと  
うございます。

改まった年に同窓会  
員の皆様のご多幸を、青年部  
会一同、心よりお祈り申し  
上げます。青年部会は若い  
世代の同窓生の交流を目的  
に活動してまいりました。

最近と同窓会活動を周  
知するため、現役学生との  
交流会を主催しています。  
8月に全国大会出場の水球  
部の皆様を招いて激励会。  
11月には大学祭実行委員の  
皆様や、沖縄リーグを制し  
た硬式野球部の皆様を招い  
て観月会を催しました。

今年も感染対策には十  
分に留意し、功績のあった  
学生を応援してまいります。



現役学生を招いての観月会

沖縄大学支援同志会



新年明けましておめで  
とございます。

新しい年が始まりまし  
た。ここ数年のコロナ禍の  
影響はほぼ無くなり、心新  
たに新年を迎えられた事と  
思います。

我々「沖縄大学支援同  
志会」は同窓生を主体とし  
てスタートし、以降、学外  
の個人・法人の皆様から  
支援を頂き運営されていま  
す。

コロナ禍の間も主に離  
島出身の学生の皆さんの生  
活支援、特に家賃補助とい  
う形で支援を行なって参り  
ました。学生の皆さんが少  
しでも学業に取り組めるよ  
う、今年も小さな支援では  
ありますが、昨年同様に支  
援を続けて参ります。



新年の挨拶



学校法人沖縄大学  
理事長 佐喜真 實

明けましておめでと  
うございます。

同窓会の皆様におかれ  
ましては、晴れ晴れとした  
辰年の新春を迎えられたこ  
ととお慶び申し上げます。  
本年は本学同窓会が創

新年の挨拶



学校法人沖縄大学  
学長 山代 寛

新年あけましておめで  
とございます。

昨年はコロナウイルス感  
染がようやく収束し、キャン  
パスに賑わいが戻りまし  
た。同窓会の皆様方には

立60周年を迎える年です。  
ともにその時を迎えること  
を楽しみにしております。

同窓会には大学改革に際し、  
その節目で、強力なバック  
アップをいただいております。  
感謝申し上げます。改革がス  
ムーズに行えるのも、偏に  
皆様の理解と大きな力添え  
があったればこそと感じて  
おります。

次の改革は何か。お互  
いが社会生活を送る中で、  
ICTを活用することは当  
たり前の世の中となつてき  
ております。教育のデジタ  
ル化推進も待たなれません。  
ICTは教職員の働き方改

様々な形で在学生への支援  
をいただき、コロナ禍を乗  
り越えられました。この場  
を借りて心から感謝の気持  
ちをお伝えいたします。

2024年は沖縄大学  
の新たな5カ年計画、第6  
次中期計画スタートの年。  
この中期計画では「同窓会  
と強く連携し、地域で活躍  
する学生を育てること」を  
目標の一つに掲げています。

沖縄大学の未来は卒業  
生の皆様のご支援とご参加  
によつて創られます。特に  
若い皆様には沖縄大学との  
つながりを大切にしていた

革を含め、大学の学びの場  
を劇的に変えていくやも知  
れません。

その教育環境の整備の  
ひとつとして、来る4月に  
情報システム管理室を設置  
します。大学の各部署のコ  
ンピュータシステムのサ  
ポートと、情報システムの  
健全性を保つためのシステ  
ム管理を同室が行つていく  
予定です。

大学改革に同窓会から  
の支援は欠かせません。今  
後とも引き続きのご支援を  
お願い申し上げます。本学同窓  
会のご発展を祈念して新年  
のご挨拶といたします。

だき、同窓会活動にも積極  
的にご参加いただきたいと  
願っています。

2023年3月には健  
康栄養学部管理栄養学科の  
第一期生が卒業しましたが、  
卒業生を部会長として同窓  
会栄養部会を立ち上げ、健  
康栄養学部の卒業生が集え  
る同窓会活動を行うことと  
なりました。このような取  
り組みも参考に、大学とし  
て同窓会と強く連携してい  
きたいと考えています。

本年も沖縄大学にご期待  
ください。皆様のご健康と  
ご多幸をお祈りいたします。

同窓会奨学生募集

沖縄大学同窓会は、将来  
沖縄の地域社会及び沖縄大学  
への貢献を期待できる人材の  
育成を目的として、左記のと  
おり奨学生を募集します。

- 1・応募資格
- (1) 沖縄大学の大学院に進学する者
- (2) 国内外の大学院に進学または研究機関で研究する者
- (3) 短期大学の卒業生で外国の大学の学部に進学・編入し将来性が期待できる者
- (4) 修士課程(博士前期課程)、博士後期課程、専門職学位課程の場合は各1回とする

2・金額  
奨学金の額は、本学同窓会奨学金予算の範囲内で支給する。

3・受付期間  
2023年12月1日(金)  
〜24年2月29日(木)

(※期限厳守)

問い合わせ先

〒902-8521  
那覇市国場 555 番地  
沖縄大学 同窓会事務局  
TEL・FAX :  
098-832-6560  
沖縄大学 学生支援課  
TEL : 098-832-7182

水球部

4年次 キャプテン 仲村俊輝

沖大水球部は昨年9月1日から神奈川県横浜国際プールで開催された第98回日本学生選手権水球競技大会（インカレ）に出場。初戦で中央大学と対戦したが、善戦及ばず6対21で敗退しました。



支援金贈呈で水球部の皆さんと

インカレに先立ち開催された九州予選会では、2年連続の優勝を果たし出場権を獲得。本大会では地方予選を勝ち抜いた全国16大学のチームがトーナメントで熱戦を繰り広げました。初戦の中央大学は関東学生リーグベスト4の強豪校。スピードやパワーの実力差は歴然で、そのため守

同窓会学生支援

りを重視したゾーンディフェンスで臨んだものの圧倒された試合展開となりました。

沖大水球部は全国大会出場校としては部員が少なく、体面や戦術面での改善も必要ですが、これら課題を徐々に改善していきたいと思えます。そして、沖縄大学の特徴である「個性豊かなプレイと楽しさを追求する姿勢」を、今後も大切に活動していきます。

同窓会の皆さま！ 支援金の支給、有志の方々による栄養会など、試合前には色々ご支援と励ましの声を頂き感謝申し上げます。今後も皆様から応援されるチームであるよう頑張ります。

軟式野球部

監督 玉城 祥梧

2023年度の沖縄県大学軟式野球リーグ戦では、春季と秋季リーグ戦で優勝し、2期連続で全国大会に出場しました。

8月に長野県で開催された第3回全国大学軟式野球選抜大会では、1回戦で



軟式野球部への支援金贈呈

岐阜正徳学園大学に2対4で負けました。11月に大阪府で開催された第46回全日本大学軟式野球選手権大会で、1回戦と2回戦と勝利し、準々決勝で桃山学院教育大学に2対6で敗退、ベスト8となりました。

二季連続の全日本選手権大会出場は、軟式野球部にとって貴重な経験であり、多くを学ぶ機会となりました。来年度は「Thinking Baseball」を考える野球を実践し、全国制覇を目指して頑張っていきたいです。

大学関係者の皆様には、沖縄からの声援と金銭的なご支援に感謝申し上げます。今後も学生同様、精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻をお願いいたします。

硬式野球部

監督 池村 貴志

第110回九州地区大学野球選手権南部九州ブロック大会決勝トーナメントが昨年10月7日から3日間の日程で宮崎県で開催され、本学野球部は準優勝に輝きました。

本学野球部は沖縄地区1位代表として出場し、1回戦で第一工科大に2対1、準決勝では東海大九州を3対2で下し決勝に進出。決勝戦では前回大会優勝校の鹿屋体育大学と互角の戦いを繰り広げたが、健闘むなしく2対3のサヨナラ負けを喫しました。

本学野球部はバッテリーを中心に勝ちつ野球で、沖大らしい粘りのプレーを実践してくれました。今大会を通し私も部員達も多くのことを経験しました。現状をしっかりと部員と共に有し、九州で勝つために必要なことを妥協せず取り組みたいと思います。

同窓会の皆様には、いつもご声援とご支援を賜り感謝しております。チーム目標である「もう一度全国大会出場」の実現に向けて日々努力して参りますので、



南部九州地区大会で準優勝のナイン

引き続きご指導ご鞭撻をお願いいたします。

陸上競技部

監督 山内 昌也

本学陸上競技部の平賀麗奈（経法商学科3年次）は昨年9月17日、埼玉・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で開催された、第92全日本学生陸上競技対校選手権大会3000mSC種目で、11分16秒57を記録。決勝15位の好成績を収めました。

平賀は同6月、岐阜メモリアルセンター長良川競技場で行われた第76回西日本学生陸上競技対校選手権大会で、天皇賜盃第92回インカレの同種目で標準記



陸上部への贈呈式



力走する平賀麗奈選手

録10分55秒00を突破する10分54秒47を記録しました。平賀は今年度、関東学院大学より編入学し、「全国大会へ出場できる選手になる」との目標を高く持ち、その目標を達成しました。日本インカレ前には同窓会より遠征費の贈呈がありました。日頃より大学や同窓会、後援会、陸上競技部OBの皆様のサポートに感謝します。今年も3年連続の日本インカレへの出場を目標に前進します。

定期総会・懇親会

沖繩大学同窓会(榎原勝也会長)の定期総会・懇親会が昨年6月10日、対面総会としては4年ぶりに開催され、80名の同窓生が参加。全議案を全会一致で承認しました。

総会は金城秀美(同窓生)の司会進行のもと、稲嶺諭副会長が開会挨拶、榎原会長挨拶の後、議長団に大城明、吉元竜一。議事録署名人に眞榮城淳二、平良裕を選出し議案を審議しました。

第1号議案は2022年度事業活動報告及び収支決算報告、決算監査報告に関する件。第2号議案は23年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件。第3号議案は23・24年度役員・評議員(案)に関する



議案を審議する会員

件。説明提案のあと、審議し承認しました。

続く懇親会は沖繩大学後援会との合同で行われ、金城さん司会のもと、開会挨拶を後援会の富原勲副会長、続いて榎原同窓会会長、新垣後援会会長らが挨拶、山代学長が乾杯の音頭をとりました。

舞台幕開けは金城フサ子舞踊研究所(同窓生)による演舞で始まり、同窓会支部、後援会支部代表が挨拶。4月に卒業した健康栄養学部第一期生の仲間で創設の「健康栄養部会」から会長代理の仲村愛音さんが挨拶しました。会場が盛り上がる中、末吉直同窓会副会長が開会の挨拶をしました。



総会終了後の懇親会

創立60周年記念式典・祝賀会に向けて

各委員会の取り組み

沖繩大学同窓会は、1958年6月沖繩短期大学の創立、61年の沖繩大学の設置から、それぞれ第一期生の卒業生を中心に64年11月28日に設立されました。

同窓会創立60周年の記念式典・祝賀会を2024年11月9日に開催します。

その準備のため、記念誌委員会、チャリティー委員会、総務委員会が活動しました。

記念誌委員会は60周年記念誌の発刊など。チャリティー委員会はチャリティーゴルフ大会の開催、総務委員会は創立60周年記念式典・祝賀会に向けた取り組みをまいます。

チャリティーゴルフ開催

チャリティー委員会

実行委員長 稲嶺諭

沖繩大学同窓会は昨年9月26日(火)、チャリティーゴルフ大会を開催しました。

プレー者数41人、受付担当(榎原会長、上田副会長、奥間事務局長)3人の総勢44人の参加者で盛り上



ゴルフに参加の皆さん

がり、空模様も最初の片降以降は支障もなくチャリティー代金総額12万3千円に達しました。プレー後の抽選による商品引き換えは皆さんに喜んでいただけただけでなく、安堵した次第です。

今大会は実行委員で経験豊富な喜納憲評議員の適切な助言とロイヤルゴルフクラブ様の多大なご協力によるものが大きく、多くの商品と現金のご寄付は大学関係者、同窓会顧問・役員・評議員、同窓生、並びに関係者の皆様のご厚意の賜物であり、心より感謝申し上げます。



同窓会青年部会主催 BBQ 開催

同窓会青年部会は昨年11月26日の午後4時半から、現役大学生と大学職員との懇親会を開催しました。

今年4年ぶりのリアル開催となった「沖大祭」実行委員会のメンバーと、4年次を中心とした硬式野球部の部員や、監督、コーチなどに加え、同窓会4人が参加し、総勢40人の賑やかな会となりました。

懇親会では、島袋格シェフのワンオペで料理が供され、参加者全員が島袋さんの料理で会話も弾み和やかなムードとなりました。

懇親会の冒頭、島袋副会長(青年部会長)から、今回の懇親会が現役学生に同窓会の存在と役割を周知してもらうことや、やがて同窓会員となり、一緒に同窓会を盛り上げる存在になつてほしいことが伝えられました。

参加した大学祭実行委員のメンバーは1年次が中心で、「大学祭では中学や高校を通して、コロナでこしたイベントがなかったため最初は戸惑ったけれども、やれてよかった」「同窓会が現役の学生のために

支援してもらおうことも、大学祭開催の支援金をもらい初めて知った」などの声もありました。

硬式野球部の4年次部員は、卒業後の内定先や、これからの社会人生活への期待と抱負を語り、新たな同窓の仲間の誕生を楽しみにできる会話もできました。

同窓会では今後こうした現役学生や大学職員との交流を深め、同窓会活動の周知しつつ、同窓会を盛り上げる仲間を募りたいと考えています。

卒業の同窓の絆をより一層広げつつ、現役学生への啓蒙を活発にして同窓会のすそ野を広げ、創立60周年を飾りましょう。



バーベキューを囲んで懇親

沖縄大学同窓生八重山地区懇親会

西表小中学校校長  
大瀧用四郎

コロナの再拡大が石垣島や西表島で心配される中、八重山地区懇親会は昨年7月10日に石垣市内の飲食店で行いました。

同窓会本部からは棚原勝也会長と奥間邑明事務局長にご参加いただきました。

「ゲーランネーラー・クヨナーラー（みなさん、こんにちは）」

と石垣の島言葉の第一声で始まった懇親会は、八重山らしく、石垣出身の大瀧用四郎さんが歌三線の「鷺ぬ鳥節」で晴れやかに座開き。続いて棚原会長や、発起人で西表島在住の石原昌英氏



和気あいの八重山地区同窓生の皆さん

と大嶺誠氏が挨拶。他、同窓生11名による自己紹介がありました。

3時間余の会でしたが八重山出身者のみならず、仕事で石垣勤務の本島出身者の同窓生も一緒になって、現況や学生時代の思い出話に花が咲き、終始賑やかな歓談の場となりました。

八重山地区の同窓生では、当日所用で参加できない方や、名前は存じ上げていないもの、連絡先が分からない方なども多数いることから、今回の懇親会を糸口とし、他の同窓生への声掛けで同窓生の掘り起こしができればと思っています。



座開きで歌う会員の大瀧用四郎さん（西表小中学校長）

教員採用試験合格者からの寄稿

こども文化学科4年次  
（久米島高校生）  
吉永愛里

小学校教員を目指したのは、母校の美崎小学校での複式学級の経験がきっかけです。複式学級の中で教えることの楽しさを感じ、教職に憧れを抱くようになりました。

進路を決定していく中で、学ぶことの基礎を培う小学校で先生をしたいと思い、教員採用試験の現役合格を目標に沖縄大学に入學しました。

一次試験では自分の得意不得意を明確にし、今自分がやるべきことをしっかりと整理して対策に取り組みました。

二次試験では教員になりたいという気持ちや、自分の特長をどう表現するのか試行錯誤しました。自分の成長を実感しながら対策できたおかげで、当日はと



吉永愛里さん（中央）と

ても楽しく試験を受けられました。

私たちが現役合格できたのは、たくさん時間を費やして試験対策をして下さったこども文化の先生方や、両親のおかげです。

今年から教育現場でたくさん子どもたちと出会っていきますが、その中で子どもたちの多様性を認め合い、一緒に学び続けられる教員になりたいと思います。

これから教員採用試験に向け対策を始める皆さんに自分を信じ、継続することが合格に繋がります。子どもたちと成長し続けることのできる学校という素敵な場所で、一緒に学び続けましょう。



教員採用試験に合格した皆さん

福祉文化国家試験合格者祝金贈呈

「社会福祉士」「精神保健福祉士」合格者及び受験生（現4年次）への激励会「先輩から後輩へエール」（福祉文化学科主催）が昨年8月11日、同窓会館で開催され、同窓会から「国家試験合格者への祝金贈呈」が行われました。

国家試験には過去最高の25人が合格し、うち10人は「社会福祉士」と「精神保健福祉士」の両試験に合格しています。

合格者から後輩へ、「受験に対するアドバイス」がされるなど、先輩たちの背中を後輩が追いかける仕組みの心温まる集まりになりました。

棚原会長は教授陣の熱意と努力にお礼を述べると



合格者へ祝金を贈呈する棚原会長

共に、学生には、「人はともすると自分の物差しで他人の不幸を決めてしまうが、福祉の現場で出会う、障害者や生活困窮者に対し、相手の生きる姿を自分の物差しではからないように。出会う人の痛みや悲しみに鋭敏な感性を持って頑張ってほしい」と語りました。



福祉文化学科の学生と先生たち



現音OB・OGの皆さんたち



音楽で繋がる仲間たち

この催しはコロナ禍を乗り越えた音楽仲間と、先輩方への感謝を込めた交流会で、今回の主役は還暦メ

現代音楽クラブ  
ライブパーティー開催

実行委員会 上原一仁

沖大・女子短大現代音楽クラブOB・OGライブパーティーを昨年9月23日那覇市松山のトップノートで開催致しました。

第64回沖大祭

ンバー。皆、学生時代と変わらない演奏を披露し、当時にタイムスリップしたように笑顔が絶えませんでした。

大での学びと、人的交流が今を輝かす光明となり、出会う人へ敬意を持って接する学びを得る機会となりました。最後に実行委員から還暦記念品の贈呈がありました。

祭(1350人)よりも多くの方がご来場くださいました。

初日の午前中は来場者の姿が少なく少し不安を感じていました。しかし、午後のステージ開始時刻が近づくとつれ、来場者も徐々に増え午後1時半にFECの演目「お笑い米軍基地」が始まり、ステージ前に集まった多数の来場者を見て、沖大祭の始まりを実感しました。所属しているゼミやサークルで出店した学生たちによる模擬店や、ステージ企画も盛況でした。



沖大祭最終日。全員の笑顔がほころぶ。

実行委員長 桃原海人

「はいさい、かりゆし、沖大祭」のテーマのもと、第64回沖大祭を10月28日(土)、29日(日)の2日間、4年ぶりに野外ステージを組んで開催しました。

来場者数は2日間で1810名とコロナ禍以前である2019年度の沖大

店団体の方々から「楽しんでいました。」

2日目の舞台最後はダイヤモンドスが情熱的な歌を披露し、詰めかけた約200人の観客は熱気と歓声で大盛り上がりとなりました。終了時刻の夜8時を迎え、私は沖大祭の成功を実感しました。

とうばらーま大会出場  
関西支部長 清村 啓  
私は宮古の多良間島出身で、宮古民謡と古典音楽を習い、今は大阪で三線工房を営みながら関西を中心にライブ活動しています。多良間島は石垣島に近く、幼い頃、八重山の唄を歌う父の唄声が私の記憶に深く刻まれています。とうばらーまは八重山を代表する歌。8月に行われた、とうばらーま関西大会に初出場で優勝し、9月に石垣島で行われた本大会



トウバラマを歌う筆者

関西代表として出場しました。本大会は精鋭揃いの中、初めての経験に緊張しながらも、歌詞2番目では自作の詩を哀愁を帯びた旋律に乗せ披露しました。大阪で感じる故郷多良間島への思いを詠んだものです。

関西代表としてのプレッシャーも感じながらも、故郷の情景を思い浮かべながら歌い上げました。他の素晴らしい出演者との共演は貴重な経験となりました。故郷への思いを胸にこれからも心を込めて歌い続けていきます。



かった」との感想を多く聞き、沖大祭を開催できて心から良かったと感じています。今回の沖大祭は沖繩大学同窓会をはじめ、沖繩大学、沖繩大学後援会、ゲスト出演者、ステージ・出店団体、関係する企業の皆様など、多くの人に支えられたの成功だと思っています。ご支援頂いた方々に深く感謝申し上げます。次年度の沖大祭も楽しみにお待ちしております。

大学祭実行委員会へ  
助成金贈呈

同窓会は昨年10月2日、第64回沖大祭の実行委員会に支援金を贈りました。贈呈式には実行委員会の小波蔵好太郎さんら4人の学生が参加しました。

「FEC」が舞台を盛り上げました。



大学祭実行委員会へ助成金を贈呈

# 人物シリーズ 活躍する 同窓生 ②

この人物シリーズは、同窓生の社会的活動を紹介するとともに、同窓生同士のネットワークを広げることと、在学生へのメッセージを通して沖縄大学との絆を深めたいとの趣旨で企画されました。

## 山城 智二さん

1994年3月  
経済学科卒



### ◆なぜ映画監督になったのか

沖縄大学卒業と同時にプロの芸人として芸能活動してきて、2023年で30年目を迎えました。その間、代表として芸能事務所を引き継ぐ形となり感慨深いものがあるが、その節目の年

に「映画を作って上映しませんか」との話をいただき監督をすることになりました。

もともと映画好きで将来は監督をしたいという夢があったので願ってもない依頼で、しかも題材は「亡くなったお兄さんをテーマとしたドキュメンタリーを」とのこと。ドラマでなくドキュメンタリーという想定外はあったものの、監督1作目を自分の一番身近なところを題材につくらせて貰えるのは何とも幸運でした。

### ◆監督をする上で心掛けていることは

映画というと描く世界が大きいがちだけど、普遍的なことをしっかりと押さえてさえいれば世界中どこでも伝わりやすいと思う。パーソナルになれどその普遍性が浮き彫りになると思っているので、そ

こを踏み外さないよう意識しました。具体的には「生と死」「兄弟の絆」「その土地（沖縄）の営み」といったところでしょうか。

### ◆沖縄出身であることは作品に影響しているか

私の兄は山城達樹といつて沖縄で初めて芸人が所属する芸能事務所を立ち上げた人です。

先ほど言ったように、自分の一番身近なところ（パーソナル）である「亡くなった兄貴」「沖縄の笑いの歴史を紐解く」が題材なので、おのずと沖縄がベースとなっています。「沖縄力ジャー（匂い）」は徹底的に意識していたので作品の至る所にそのカジャー



ファニーズの皆さん。前列右が山城智二さん

が充実しているはずですよ。

### ◆在学中の思い出は

もともと私が芸人になつたきっかけは亡くなった兄であり、兄が沖縄大学で「フリーエンジョイカンパニー（FEC）」というサークルをつくったところから始まります。

「大学生活を楽しもう」というコンセプトのもとサークルをスタートさせますが、幼なじみとファニーズという漫才コンビを結成して一躍テレビ・ラジオで人気者となったことでサークルもお笑い系となり、卒業と同時に事務所を開設します。そして自分だけでなく沖縄に「お笑い」というジャンル自体を根付かせようと、その時代にまだ定着していなかった「定期公演」や「お笑いの大会」を開催しています。

そうすることによって沖縄に芸人の数が増え、お笑い界が形作られてきました。しかし、兄は残念ながら事務所を開設して3年後に亡くなります。過労が原因です。一時でも早く沖縄にお笑い界を確立しなければという思いが彼を生き急がせてしまったのかもしれない。

ません。

そんな兄の遺志を継いで私が今、事務所の代表をしている訳なんです。その原点を辿ると、それはやはり沖縄大学なんですね。沖大サークル時代の「自由に、楽しく、集う」という精神と遊び心があったはじめてFECが沖縄のお笑い団体・事務所として成立していると思います。

### ◆監督業の苦勞と喜びは

今回は撮影から公開まで1年と期限が決まっていたので、その中でいかに効率的に作品をつくっていくかを考えました。ですが制作がはじまると全く予定通りに行かず、「七転八倒で四苦八苦」でした。

でも山は高ければ高いほど頂上に辿り着いた時の景色の美しさや達成感は段違いで、ドキュメンタリー映画では異例のヒットとなり沢山の県民の皆さんに観て貰えました。12月に行われた「東京ドキュメンタリー映画祭」でも評価され特別上映されました。今年度は東京・大阪・名古屋・福岡、ほかでの県外上映も控えており、映画を通して沖縄の笑いを全国に広げていければと考えています。

### ◆沖縄大学への期待と、在学生へのメッセージを

大学という場所は自主性が大事です。待ちの姿勢だと何も始まらないので、アグレッシブにどんどんチャレンジしてください。若いうちは犯罪以外、何やったらいいし、失敗し放題だよ。それが肥やしになり未来の自分をつくり、将来の成功を叶えてくれます。沖縄大学にはそれをさせてくれる環境と度量があります。FECの社名にもなつて、僕らのテーマでもある「自由に、楽しく、集う」、そんな学風が沖大にもあるんじゃないでしょうか。

OBとして在学生の皆さんには勝手に縁を感じています。皆さんの夢や挑戦を応援しています。ちばりよー！

### 編集後記

「活躍する同窓生」欄へのご投稿お待ちしております。分かりやすい紙面づくり、ネットワークづくりが編集方針です。

広報委員会委員長  
下地将生